

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

■コミュニティだより

VOL. 86 (年4回発行)

■発行日 平成30年1月1日
■発行 三春まちづくり協会
■編集 三春まちづくり協会広報部会
三春町大字貝山字泉沢100-1 (旧若駒寮)
TEL/FAX (62) 3988

「町民と議会との意見交換会」

テーマ 《役場・図書館等の
公共施設の整備について》

去る十月二十四日、三春交流館「まほら」に於いて、平成二十九年度「町民と議会との意見交換会」が開催されました。三春町議会では、町民の皆さんから議会や町政に対する意見を伺い、町政に反映させるとともに、町民の福祉向上や地域振興につなげるために、開催されたものです。

▽相川副協会長あいさつ

今日は、公共施設の整備について、お話を頂くわけですが、議員の皆さんのお話を聞いて、議員の皆さんと一緒にまちづくりのために少しでもお力になれますよう頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

▽町議会議長あいさつ

昨年度は百名を超える町民の皆さんに参加を頂き、公共施設の整備を初め幅広い分野で活発な議論を展開され、皆様からの意見要望は内容を精査し町執行側に申し入れを行ってまいりました。本日も忌憚のないご意見をお聞かせください。

新年のご挨拶

三春まちづくり協会長 幕田勝春



新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお祈り申し上げます。

「町民と議会との意見交換会」

「散策路ウォーク」「三春秋まつり」「視察研修」などに、多くの皆様の参加を頂きありがとうございました。出前懇談会の開催では「明治期に活躍した三春の人々」という事で私たちが知らない多くの方々が色々な方面で活躍していたことを知りました。又、三春町青少年問題協議会では、十三団体で、青少年健全育成に努めているところでありますが、三春まちづくり協会でも「こどもの見守り隊」、「まほらっこ教室」などで協力を行ってまいりました。今年も行政や各種団体と安全・安心のまちづくりに向けて頑張っていきたいと思いますので、町民の皆様のご指導よろしくお祈りいたします。

平成二十九年も各部会長さんを中心に、それぞれ事業に取り組んでいただき誠にありがとうございました。年頭にあたり、皆様のご健康をお祈り申し上げ新年のご挨拶いたします。



公共施設の整備について、町と議会により協議が進められており整備方針(案)、配置計画検討図(案)(庁舎と図書館を合築させる複合案二案)が選定され、現在、複合案を一つに絞るための協議が継続されております。以下基本整備方針(抜粋)について掲載いたします。

公共施設の整備について、町と議会により協議が進められており整備方針(案)、配置計画検討図(案)(庁舎と図書館を合築させる複合案二案)が選定され、現在、複合案を一つに絞るための協議が継続されております。以下基本整備方針(抜粋)について掲載いたします。

■公共施設の整備方針

- ①三春らしい町並み
 - ・街路側を二階建ての高さに家並みをそろえて街並み景観の統一を図るため、低層で計画。
- ②公共施設の配置計画
 - ・現役場庁舎敷地、庁舎東側歴史民俗資料館駐車場及び旧公民館跡を検討対象区域として、公共施設の配置を計画する。
- ③来庁者に配慮した駐車場
 - ・来庁者の利便性を考慮した駐車場の確保。大型バスの駐車スペースも考慮する。
- ④建設費の縮減
 - ・施設の複合化による共有スペースの縮小などを比較し、可能な限りコンパクトな施設を目指すとともに、合理的な建物構造の検討を行い建設費の縮減を図る。

■施設毎の整備方針

- ①三春町役場庁舎の整備方針
 - ・防災拠点災害対策活動拠点としての庁舎
 - ・キーワード…安心・安全
 - ・耐震性能の確保
 - ・災害時の機動性の確保
 - ・災害バックアップの充実
 - 機能的で誰でも利用しやすい、働きやすい庁舎
 - ・キーワード…
 - ・ユニバーサルデザイン
 - ・ワンストップサービス
 - ・わかりやすく利用しやすい庁舎
 - ・来庁者のプライバシーの確保
 - ・来庁者に配慮した駐車場の確保
 - ・合理的な事務処理や、組織変更などに容易に対応できる働きやすい環境
 - ・議場・各委員会室
 - 自然エネルギーを活用し、高効率で、省エネが図れる庁舎
 - ・キーワード…環境共生
 - ・自然エネルギーの活用
 - ・高効率を図れる庁舎
 - 三春町の身の丈に合い、コスト削減に配慮した庁舎
 - ・キーワード…
 - ・コスト削減・接続可能
 - ・コンパクトで機能的な庁舎
 - ・ライフサイクルコスト削減が可能な庁舎
 - 様々な交流を育む開かれた庁舎
 - ・キーワード…
 - ・交流を生む・開かれた
 - ・町民交流・官民協働の場としての多目的交流スペースの配置
 - ・他の公共施設や観光拠点との連携
 - 周辺環境へ調和し、魅力ある街並みづくりの集大成となる景観形成
 - ・キーワード…景観形成
 - ・歴史民俗資料館や交流館「まほら」のように「歴史公園都市」としての風格と豊かさが感じられる庁舎
 - ・町民に親しまれ、将来にわたって地域の景観をリードするような街並み形成
 - ・桜川の景観や周辺樹木を生かした計画
 - 三春町の誇りとして町民に永く愛される庁舎
 - ・キーワード…三春らしさ
 - ・街並みに配慮した低層建築(二階若しくは一部三階程度)とする
 - ・地場産材の活用や地域の匠の技術を発揮する場の提供(地産地消、地材地建を可能な限り取り入れる考え方)により、三春らしさが結集し、表出されるような庁舎
 - 保健センターについて
 - 保健センターが担っている機能を生かしつつ、窓口業務については役場庁舎の一階への集約を検討する
 - ・保健センターについては、保健センターが担っている機能を十分に活かすことを基本とし、引き続き活用を図る。尚、保健福祉課及び子育て支援課についてはワンストップサービスの観点から可能な限り窓口業務を新庁舎の一階に集約することを検討する
 - 三春町民図書館の整備方針
 - 子どもから大人まで様々な人の「学び」や「生きがいづくり」を支援する多機能図書館
 - ・乳幼児から高齢者まで多様な利用ニーズに対応する図書館
 - ・社会の成熟度に対応した多機能図書館
 - ・情報発信する図書館
 - 誰もが気軽に利用でき、やすらぎや落ち着きの感じられる図書館
 - ・安全安心な耐震性の確保とユニバーサルデザインの図書館
 - ・気軽に利用できるゆとりと居場所の確保
 - 利用者の交流を促し、三春の歴史・文化の継承や産業育成を支援する図書館
 - ・町民の交流の契機となる図書館
 - ・三春の歴史・文化を継承する図書館
 - ・地域のまちづくりや産業育成を支援する図書館
 - 自然エネルギーの活用や省エネに配慮した図書館

■主な意見、質問と回答

- Q いつまでに決定するのでしょうか。
- A 本年度の予算で基本設計の予算を計上しており、町では当初一月末までには基本設計に入りたいようです。
- Q 複合案二案で検討しているようですが、財政を一番に考えて整備してほしい。町民の皆さんが納得する金額でやるしかないが、最初から何億で作りたいという話ではないので最低限必要なものは入れなければならぬ。
- Q 庁舎が出来た場合歴史民俗資料館への通行はどうなるのでしょうか。
- A 現在の道路を生かし役場庁舎と図書館の間を通行できるようにいたします。
- Q 図書館に子育て支援の観点から、授乳室が必要ではないでしょうか。
- A 役場と図書館の連絡通路の上の休憩スペースに授乳室を計画しています。

協会活動だより

全体事業

「視察研修旅行報告」

副協会長

永井 久

十一月八日(水)、会津方面へ今年度の視察研修を実施しました。



コースは、日新館、県立博物館、香寿庵(昼食)、鶴ヶ城、七日町通り散策、末廣酒造と盛りだくさんの内容でした。肌寒い日でしたが二十五名が参加し、和気あいあいの研修となりました。会津藩校日新館は有名な施設ですが、私を含めここを訪れるのは初めてという人が多く、たいへん興味深く見学しました。会津藩の教育や白虎隊のことなどを知るには最適だと思えました。県立博物館で常設展を見学した後、たいへん美味しい昼食をいただきました。鶴ヶ城は、天守閣まで登って下りてくるだけでもかなりの時間がかかるため、もう少し時間をとればよかったです。蔵が建ち並ぶレトロな通り「七日町通り」では、思

い思いの散策となりましたが、水曜定休の店が何軒か有り、お目当ての店に行けずに残念がっている方もいました。末廣酒造で丁寧な日本酒の造り方の行程を学び、一日の研修を終えて帰路につきました。

研修にご参加くださった皆様ありがとうございます。次年度研修の企画にぜひご意見をお寄せください。

「三春秋まつりに参加」

去る十一月四日(五日、第十四回「三春秋まつり」が開催され三春まちづくり協会では、街並部会が参加し町内の石柱の紹介・写真・位置図・石柱の説明文のパネル展示を行いました。「石柱の拓本ラリー」も同時開催し六十七名の方がエントリーいたしました。



「城山アジサイの手入れ作業」

十一月十一日(土)城山公園のアジサイ植栽地の下草刈りなどの手入れ作業を実施しました。アジサイの手入れは春と秋に実施しています。来年もきれいに咲くことを願って頂きました。

切り採って頂きました。



部会だより

「散策路ウォークに思う」

地域部会

山崎 正

去る十一月一日(水)、まちづくり協会地域部会の事業に於いて、散策路ウォークを実施いたしました。参加者十名で観光ガイドの渡辺さんの協力をいただきお城山、不動山の二箇所を廻りました。好天に恵まれお城山に於いては赤の紅葉、黄色の楓といったもみじのコントラストがとても綺麗で、新鮮な空気を吸いながら心の中まで癒される散策でした。又、ガイドさんによる城山の由来の説明を受けて今迄は、ただ散策をしていましたが、改めて本当に昔を語る由緒ある城跡であった事を、三春町の住民

として誇りに思いました。又、不動山に於いては、紅葉はさる事乍ら前方には三春小学校、お城山が見渡せる光景もとても眺めがよく、皆さんも是非、春の新緑、秋の紅葉と町内に七ヶ所ある散策路を巡ってみてはいかがでしょうか。

「学習部会講演会」
生涯学習部会
服部 昇
部会講演会を九月六日、田村大元神社の田母野公彦氏を講師に迎え、当神社を会場に「田村大元神社の概要と見所」をテーマに開きました。



雨天にもかかわらず二十余名の参加をいただき、普段立ち入りのできない拝殿にて、胡床(コショウ)に座り、厳粛な環境で、神社の歴史、信仰や祭礼などについてお話があり、現在までの経緯をひもとかれ永正元年(一五〇四年)頃にタイムスリップしての講義に、しっかりと耳を傾けました。境内に於いては、主に彫刻関係の案内を受け、随神門はじめ町指定有形、無形文化財、八幡神社、熊野神社等が祀られていて数多くの歴史ある貴重な宝庫にすっかり驚かさ

れました。受講者の中には後日カメラ片手に改めて、ゆつくり参拝をしながら訪れたいとの声もありました。大変好評なうちに、心が清まった気分になり今後のまちづくり活動に役立てたいと考えました。

「荒井浄水場視察研修」

環境部会

菅井 純一

本年度からまちづくり協会、環境部会の一員として環境についての勉強会、視察研修、通学路・散策路の放射線測定等がありました。郡山市の荒井浄水場に行き水道水の出来るまでを研修してきました。三春ダム(完成と共に、同ダムから水を取り入れ平成九年度に給水を開始し、東北地方では初めてオゾン・活性炭による高度浄水処理を導入した現在もここだけに在る施設だそうです。オゾンの強い酸化力を利用して、水中に含まれる色や臭いを分解して無数の小さな穴が開いている活性炭に吸着させ浄水処理する仕組みです。郡山東部地区に給水して、現在は施設能力の半分ほどの稼働ですが、工場や人口等の増加に伴い随時稼働率を上げるそうです。施設の自動化により、職員の削減にもなっているとの事です。



私たちの生活に大切な安全・安心な美味しい水を供給し、三春ダムの水を沢山利用してもらえれば良いと思います。『誰もが暮らしやすい町づくり』をスローガンに今後もよろしく願いいたします。

「通学路放射線量の測定を実施」

環境部会

渡辺 正吉

東日本大震災による東京電力第一原発の事故以来六年九ヶ月が過ぎた今、町民の皆様がに於かれては日々健康で過ごされている事と存じます。三春町全体でも生活圏に於いては、平成十八年度を以て除染が完了したとの事。さて私達三春まちづくり協会環境部会は、今年度も事業計画に従い町内七地区通学路の放射線量測定を行いました。既に行政による除染作業が終了している事に加え何よりも時間の経過が線量低下に寄与しているものと考えております。尚、放射線量測定地点(七ヶ所)測定期間(八月十五日(八月二十二日)及び地上メートルの位置で行いました。測定結果から最高値は、〇・一八マイクロシーベルト(城山公園)最低値は、〇・〇七マイクロシーベルト(新町地区四ヶ所)です。結論としては昨年同様、測定地点七ヶ所の全てに於いて基準値の〇・二二マイクロシーベルトを超えた場所は存在しませんでした。

尚、通学路放射線量の測定値につきましては、「一覧表」と「グラフ」で表示し一月に地区隣組を通して同覧によりお知らせいたします。

編集後記

今年、愛姫生誕四五〇年です。愛姫は、長く町民に愛されてきた人物の一人だと思えます。皆さんは池の「愛姫小路」をご存知ですか。県道本宮三春線の内側を通る道で、今は通学路にもなっています。由来は、伊達政宗の元へ嫁いだ愛姫がこの道を経由して米沢へ向かったとされていることから名付けられたそうです。若干、十二歳でした。▼家のためとはいえ、その時の父清頭、愛姫の胸中を察するに余りあります。その後、彼女は名実と共に政宗の良妻となります。関ヶ原の戦いの折には、人質の身で自分のために家の去就を決める事の無いよう求め、常に懐に剣(自衛用)を持っていると覚悟を伝えていたというのは、有名な話かと思えます。▼興入れ後は、三春の地に足を踏み入れる事が一度もなかったそうです。まさに、強い決意とそれを貫き通した彼女の原点が愛姫小路と言えるでしょう。彼女の人生を振り返り、散策してみると感慨深く思えるのではないのでしょうか。▼町内にはこれまでこの紙面でも紹介してきた散策路が他にもたくさんあります。歴史に想いを馳せ散策してみるといつもとは違う街並みに出会えるかも知れません。(吉田千穂)

コミュニティだより
「三春わが街」第八十六号
発行日 平成三十年一月一日
発行 三春まちづくり協会
編集 三春まちづくり協会
広 報 部 会
三春町立真山小学(〇〇一)
(六二) 三九八八